

『全世代通信』第 44 号 待機児童解消のための病院内保育所助成 個別紹介Ⅲ

『全世代通信』第 44 号 2022/7/29 待機児童解消のための病院内保育所助成の個別紹介Ⅲ
認定 NPO 法人「全世代」メールマガジン <http://zensedai.org>

新型コロナ渦 3 年越しのサマーバカンスへ冷水を浴びせる第 7 波の超速到来です。全世代の周囲にも感染が広がっています。医療者の感染拡大により医療現場の逼迫が懸念されます。反面、私たちも長引く経験から with コロナの知恵もだいふ身に付けてきました。▽3 密を睨んだ適切なマスクの脱着▽効率的な換気▽可能なワクチン接種——といったところでしょうか。賢く生活したいものです。

さきの理事会でオンライン方式での秋季フォーラムの開催に向けて取り組むことが合意されました。今号は待機児童解消に向けた病院内保育所 8 施設の助成事業(最終総額 373 万 7279 円)の残る 4 施設について支援内容を紹介します。

(このメールマガジンは会員はじめ、全世代の活動に対し、ご理解、ご支援を期待する皆さまへお送りしています)

▼今号の内容

- <1> 待機児童を減らすための病院内保育所助成 個別紹介Ⅲ
- <2> 第 19 回理事会について
- <3> 事務局から

<1> 待機児童を減らすための病院内保育所助成 個別紹介Ⅲ

昨年度に助成した 8 施設のうち第 42、43 号で 4 施設について助成内容や助成成果を紹介しました。今号は残る 4 施設です。全世代ホームページ(<http://zensedai.org/>)には園児たちが助成品で遊ぶ様子の写真を掲載しています。ご覧下さい。また予算上見送った施設も多くあったことから今年度に 2 次助成事業を予定しています。(菅原正純)

⑤【国立病院機構埼玉病院 さいたま保育園】

所在地：埼玉県和光市諏訪

園児定員：100 名 (うち地域枠 24 名)

助成対象：巧技台一式

- ◇ 申請・助成理由 当院では子育て世代にある医療従事者の働く環境整備とともに、地域の待機児童解消にも大きく貢献しているところです。しかしながら事業所内保育所であることから保育給付の公定価格も制限があり、3 歳以上の園児を受け入れているため、保育士も基準に比して多く (6:1) 配置する必要があることから保育事業の収支改善には苦慮している状況です。これを補うために広く補助金・助成金を有効

かつ適切に活用しながら、保育の質を担保するために必要な備品等を本制度により調達したく申請いたしました。

◇**助成成果** 巧技台の導入目的として、保育園から小学校への接続を意識してのものです。院内保育園に通う園児が小学校に進学する際に、同学年の園児が一般保育園と比べて少ないことにより、競争意識や運動機能の向上が未発達のまま進学させるのではなく、保育に巧技台が加わることにより、さらに運動面での発達が見込まれます。現代社会の中で省略されてしまった遊びを安全な環境で経験できるように環境整備を行いたいとの思いがあります。さいたま保育園では遊びを中心とした保育をしており、その中で今回補助金により購入させていただいた巧技台は、各年齢に合わせて組み合わせることが出来、運動能力の向上につながると考えております。

さらに遊具等の充実を図ることで、園児数の確保および待機児童の解消にもつながると考えております。そして何よりも園児達の喜ぶ姿が見られたことを保護者・職員一同喜んでおります。この度は補助金の対象として選定いただき誠にありがとうございました。

⑥【済生会宇都宮病院 うつのみやなでしこ保育園】

所在地： 栃木県宇都宮市竹林町

園児定員： 80 名（うち地域枠 23 名）

助成対象： 電子ピアノ

◇ **申請・助成理由** 2015 年 宇都宮市の認可保育園として職員枠 60 名、地域枠 20 名の計 80 名、0 歳児から 2 歳児（職員の特定利用は就学前まで）の定員で開園しました。開園 2 年目に 114 名と園児が定員を大きく越えた結果、保育床面積の不足、保育士数不足が生じてしまいました。このため職員枠は就学前までの保育をしていたところを満 2 歳児までに制限し、原則 3 歳以上は連携幼稚園に移っていただくねばならず、園児、保護者に負担をかけました。

その後、保育士を確保することが問題解決の第一歩として、保育士の処遇改善や労働環境を図り、保育士数は充足したところです。21 年度より 3 歳児の保育を再開し、22 年度は 4 歳、23 年度は 5 歳児保育を再開する計画で建物の増築工事を自主工事で行うことも決定しており、基本設計を進めています。財政面においては、保育料の減収と保育士確保により人件費が増加したことで、昨年度も約 4,000 万円の赤字とさびしい状況である上に、前述した増築工事費を捻出する必要があります。これらの理由から、備品の購入に助成金を活用させていただきたく、今回の申請に至りました。

◇ **事業の具体的な成果** 従来ピアノ及び電子ピアノをホールと保育室に設置してましたが、台数が足りずに 3 つの保育室では ミニキーボードなどで代用していたため、保育の質の担保、向上のため増台の必要がありました。今回、新たに電子ピアノ 2 台を購入させていただき、すべての保育室に電子ピアノを設置することができました。一方、時には 夜間保育利用などもあり、長時間園で過ごすことの多い園児にとって、音楽にふれることのできるよい環境を作れました。また保育士のモチベーションが向上し相乗効果となったことも成果の一つとなりました。

（栃木県済生会支部長 小林 健二）

⑦【一般財団法人倉敷成人病センター KMC すまいる保育園】

所在地： 岡山県倉敷市白楽町

園児定員： 33 名（うち地域枠 16 名）

助成対象：▶サークル▶太鼓橋▶ローラー滑り台▶パーティション▶ソフト玩具

◇ **申請・助成理由** 病院職員の子どもの大多数は育休明けで入園する為、月齢差がほとんどない子どもの集団であり、生活リズムや遊びにさほど開きがない。しかし、地域開放の子どもは 0 歳～ 2 歳児で年齢に大きな差があることが予想される為、生活や遊びのスペースを仕切る必要がある。また各年齢で満足のいく遊びを提供するための玩具が必要となり、購入の助成金を申請しました。いずれの物品も子どもたちの安定した生活のために必要なもので、子どもたちが安定することは、保育所職員の安定にもつながり、保育士不足の中の職員の採用にも有効に働きます。さらに保育士の採用がスムーズだと受け入れる子どもの人数にも制限がなく、地域開放の子どもを受け入れもスムーズにいくと思われまます。

◇ **助成成果**

- ① サークル 園庭との仕切りに使用することで、歩行の安定していない子どもでも外気に触れて遊ぶことができ、年長児が遊んでいる姿を見て楽しむこともできます。何よりそれぞれの年齢の子どもが安全に過ごすことができるので、地域開放の子どもを受け入れても安心して過ごせている。
- ② 太鼓橋 遊び方が年齢によって違うが、それぞれの年齢で楽しめ、みんな粗大遊びが出来ている。
- ③ ローラー滑り台 ホールに設置しているが、どの年齢の子どもも喜んで遊んでいる。また地域開放の比較的年齢の大きな子 (1, 2 歳児) は滑る順番や、一方通行などの簡単なルールを身につけることができている。
- ④ パーティション 広い空間を仕切ることで異年齢の子どもでも同じ場所で遊ぶことができている。パーティションに高さがあるので、視界に入らないことでお互いに気が散ることなく、それぞれの年齢の子どもが集中して遊びや生活ができている。
- ⑤ ソフト玩具 全身を使って遊べるので、地域開放の 2 歳児も満足して遊べている。それぞれの年齢で違う遊び方をするが、年少児が年長児の遊び方を真似て挑戦する姿も見られ、異年齢児間のコミュニケーションもできている。(倉敷成人病センター 代表理事 安藤正明)

⑧ 【医療法人昭和会 倉敷北病院 キッズコートくらしき】

所在地：岡山県倉敷市宮前

園児定員：20 名 (うち地域枠 4 名)

助成対象：▶玩具一式▶砂場の砂▶緩衝材 (園児が転倒した場合の安全対策として園庭に設置してあるフェンスのコンクリート製の土台を覆う)

◇ **申請・助成理由** 乳幼児の心と体の成長を育むための物品購入。開設 8 年が経過し老朽化した物品を買い替えたい。園庭を整備し、園児の安全を図りたい。院内保育事業は職員の福利厚生を主眼に運営している 従って収支トントンで推移しており、資金的に余裕があるとは言い難い。

◇ **助成成果** 本事業により備品等を充実させることで、職員および地域の皆様に満足と安心をお届けできる。結果として、職場復帰の促進につながり、待機児童を減らすことができる。(倉敷北病院理事長 宮原淑人)

